

## 活動報告

団体名	特定非営利活動法人 御前崎災害支援ネットワーク
活動名	平成30年7月豪雨災害による被災者救援活動事業
活動期間	2018/08/25~2018/8/26
活動の成果	<p>安浦地区は3つの支流から集中して流れ込む本流が短く、三津口湾手前で滞留してしまい、そこに土石流などが流れこみ支流流域で土石流と共に浸水した場所でした。</p> <p>活動した家は2軒とも1M50cmほど浸水し、土石流が流れ込んでいました。ほとんどの作業は泥出し、土のう詰め、床板外してダイヘン重量度になりました。この気温で早急に泥出しをしないと家の中が腐敗するので緊急性が必要だと感じたが、報道などで紹介された他の地区に比べてボランティアの数が少なかったと思う。</p> <p>参加したボランティアは初めて被災地の活動をして「被災者の方が疲れているのをすごく感じて、自分が少しでも役に立てると良いな」「2階で生活している人など自分ではできない、自分なら友人の家や親戚の家に行くけど行けない人もいるんだと知って少しでも役に立ちたい」と感想を話していた。何度となく参加しているボランティアは「泥の高さが深くこんな深い泥は初めてだ、泥が乾燥してスコップが入らない、家族だけでは到底片づけはできないので何とか今日目途を付けたい」など積極的に活動していた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>静岡県御前崎市から約10時間。バス代も高く事業を進めるか迷いました。しかし、日々報道を視ていると東日本大震災で支援してきた大槌町を思い出し、一刻も早い救援活動が必要だと思い、ポラバスの運行を決定しました。この助成金があれば次の計画も立てやすく励みになります。皆様の心を力に変えて今後も頑張っ活動していきたいと思ひます。</p>

(活動のようす)

